

|                |  |              |   |
|----------------|--|--------------|---|
| ナンバリング         | A②05   | 科目名          | 現代社会論 「人類学とフィールドワーク」<br>—大相撲から文化と伝統を学ぶ— |
| 担当形態           | 単独   | 担当教員         | 松山 啓                                    |
| ディプロマポリシーとの関連性 | ①, ②, ③  |              |   |
| テキスト           | なし   |              |   |
| 開講時期           | 通年   | 単位数・<br>授業形態 | 4単位・演習                                  |
| 到達目標           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークを実践することで、他者理解の方法を学ぶ。</li> <li>・大相撲に関する具体的な事例を考察し、「文化」という概念を説明できる。</li> <li>・上記①②について、自分の言葉や文章で表現できる。</li> </ul>  |              |   |
| 授業の概要          | <p>文化人類学とは、フィールドワークを通して対象世界の「文化」や「社会」を研究し、人間とは何かを問う学問である。本授業では、人類学的な思考を学びつつ、フィールドワークを実施することで、理論と実践を往還しながら異文化と他者理解の方法を学習する。この授業では、日本における相撲興行を対象とし、相撲部屋への参与観察や、本場所の観戦、両国の街歩きから「文化」や「伝統」をテーマにディスカッションをする。</p>   |              |   |
| 授業計画           | <p>第1回 文化人類学とは何か<br/> 第2回 フィールド演習: 大学周辺を歩く(おゆみ野地区)<br/> 第3回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察<br/> 第4回 大相撲: 「相撲部屋」について学ぼう<br/> 第5回 フィールド演習: 相撲部屋で稽古見学をしよう①<br/> 第6回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察<br/> 第7回 映画「辛抱」の鑑賞<br/> 第8回 大相撲: 興行の仕組みを知ろう<br/> 第9回 相撲の歴史を探る: 「なぜ両国は相撲の街になったのか」①<br/> 第10回 フィールド演習: 両国の街を歩く<br/> 第11回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察<br/> 第12回 前期のまとめ 内容の振り返りとディスカッション<br/> 第13回 フィールド演習: 大相撲の本場所を観戦しよう<br/> 第14回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察<br/> 第15回 フィールド演習: 相撲部屋で稽古見学をしよう②<br/> 第16回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察</p> |              |   |

|               |  |    |          |  |  |
|---------------|--|----|----------|--|--|
|               | <p>第 17 回 調理実習:ちゃんこ鍋をつくってみよう</p> <p>第 18 回 映画「相撲道～サムライを継ぐものたち～」鑑賞</p> <p>第 19 回 佐倉市と雷電為衛門の歴史を学ぶ</p> <p>第 20 回 フィールド演習:佐倉市周辺を歩く<br/>(雷電ゆかりの地を巡る、国立歴史民俗博物館見学)</p> <p>第 21 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察</p> <p>第 22 回 フィールド演習:相撲部屋で稽古見学をしよう③</p> <p>第 23 回 ディスカッション フィールドノートの読み合わせと考察</p> <p>第 24 回 一年間のまとめ</p> |    |          |  |  |
| 準備学習と必要時間     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に示された課題やテーマの概要を調べておくこと。(必要時間:60分)</li> <li>・事前の授業準備において、コメントや質問を考えておくこと。(必要時間:60分)</li> </ul>  |    |          |  |  |
| 評価方法          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における積極的な取り組みとコメント - 30%</li> <li>・フィールドワークの調査報告・発表 - 30%</li> <li>・レポート - 40%</li> </ul>   |    |          |  |  |
| 参考文献          | <p>岸政彦・石岡文昇・丸山里美(2016)『質的社会調査の方法—他者の合理性の理解社会学』有斐閣.</p> <p>新田一郎(1994)『相撲の歴史』講談社.</p> <p>岸上伸啓(2018)『はじめて学ぶ文化人類学』ミネルヴァ書房.</p>   |    |          |  |  |
| 特記事項          | <p>フィールドワークにおける交通費等は各自負担。授業の進捗状況により、内容や順序の変更等の可能性がある。</p>  |    |          |  |  |
| 課題へのフィードバック方法 | <p>レポート・報告・発表に対するコメントを実施する。</p>  |    |          |  |  |
| 卒業・免許状・資格との関連 | 卒業   | 必修 | 幼稚園教諭免許状 |  |  |
|               | その他  |    | 保育士資格    |  |  |
| 教員の実務経験       |  |    |          |  |  |